

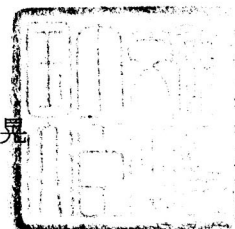


認 定 書

国住指第 2499 号
平成 15 年 10 月 29 日

因幡電機産業株式会社
代表取締役社長 出口 健 様

国土交通大臣 石原 伸晃



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ[防火区画貫通部 1 時間遮炎性能]の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PS060WL-0151
2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称
給・配水管・ケーブル/ポリオレフィン系樹脂混入水酸化金属塩充てん/壁耐火
構造/貫通部分（中空壁を除く）
3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容
別添の通り

(別添)

1. 構造名

給・排水管・ケーブル／ポリオレフィン系樹脂混入水酸化金属塩充填／壁耐火構造／
貫通部分（中空壁を除く）

2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
開 口 部	(形状) 円形 (面積) 0.0102m ² 以下 (φ0.114m以下)
占 積 率 (開口面積に対する給・排水管・ ケーブル断面積の総合計の割合)	39.5%以下
貫通する壁の構造等	コンクリート、厚さ 100 以上

(別添-1)

3. 材料構成

(寸法単位：mm)

項目	申請構造			
給 ・ 排 水 管	銅管	規格	JIS H 3300, B 8607	
		外径	12.7 以下	
		厚さ	1.0 以下	
	鋼管	規格	JIS G 3452, 3454, 3442	
		外径	12.7 以下	
		厚さ	1.0 以下	
	ステンス鋼管	規格	JIS G 3448, 3459	
		外径	12.7 以下	
		厚さ	1.0 以下	
	可とうポリエチレン管 楕円可とうポリエチレン管	外径	φ 39 以下 (楕円は φ 48 以下×32 以下)	
		厚さ	0.7 以下	
	可とうポリプロピレン管 楕円可とうポリプロピレン管	外径	φ 39 以下 (楕円は φ 48 以下×32 以下)	
		厚さ	0.7 以下	
	可とう塩化ビニル管 楕円可とう塩化ビニル管	外径	φ 39 以下 (楕円は φ 48 以下×32 以下)	
		厚さ	0.7 以下	
	被覆銅管	規格*1 管	JIS H 3300, B 8607	被覆：(1)～(9)のうち、いずれか一仕様とする (1)ポリエチレンフォーム ・規格：JIS A 9511 (2)ポリプロピレンフォーム (3)難燃ポリオレフィンフォーム (4)ポリスチレンフォーム ・規格：JIS A 9511 (5)硬質ウレタンフォーム ・規格：JIS A 9511 (6)フェノールフォーム ・規格：JIS A 9511 (7)合成ゴム系フォーム (ニトリルゴム, スチレンゴム, クロロ フレンゴム, エチレンプロピレンゴム) (8)グラスウール ・規格：JIS A 9505 (9)ロックウール ・規格：JIS A 9504
外径 (銅管外径)		35.0 以下 (12.7 以下)		
厚さ 管 被覆		1.0 以下 10.0 以下		
被覆鋼管	規格*1 管	JIS G 3452, 3454, 3442		
	外径 (鋼管外径)	35.0 以下 (12.7 以下)		
	厚さ 管 被覆	1.0 以下 10.0 以下		
被覆ステンス鋼管	規格*1 管	JIS G 3448, 3459		
	外径 (ステンス鋼管外径)	35.0 以下 (12.7 以下)		
	厚さ 管 被覆	1.0 以下 10.0 以下		
被覆可とう塩化ビニル管	外径 (塩化ビニル管外径)	38.0 以下 (27 以下)		
	厚さ 管 被覆	1.0 以下 5.0 以下		
ケーブル	規格	JIS C 3401, 3342, 3307, 3312		
	外径	12.0 以下 (平形は断面積が 113mm ² 以下のもの)		
	導体の総断面積	8mm ² 以下 (1本あたり)		

*1：被覆を除く素管の規格を示す。

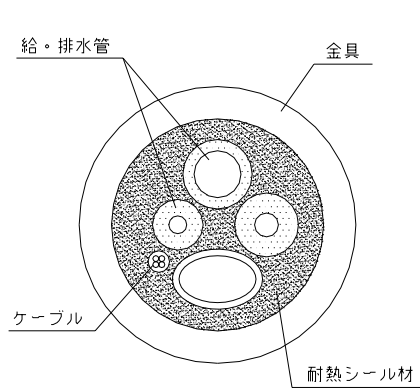
(寸法単位：mm)

項目	申請構造		
防火措置材料	耐熱シール材 ポリオレフィン系樹脂混入水酸化金属塩充てん材*2	密度組成 (質量%)	1.9g/cm ³
		使用量	充てん高さ：77以上
	金具	材質	ステンレス
		厚さ 外径	0.8以上 φ147以下
	硬質塩化ビニル管スリーブ (1)、(2)のうちいずれか 仕様とする (1)なし (2)あり	規格	JIS K 6741, 内径基準薄肉管 (SU)
外径 厚さ		114以下 6.6以下	

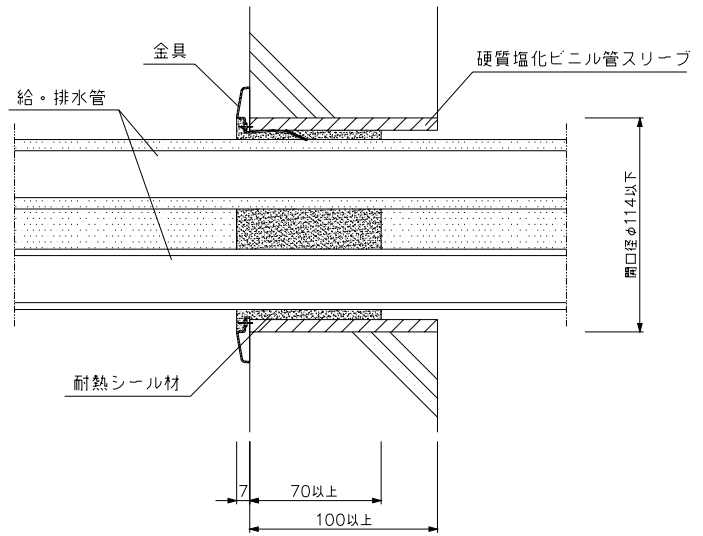
*2：ポリオレフィン系樹脂混入水酸化金属塩充てん材＝以下「耐熱シール材」という。

4. 構造説明図

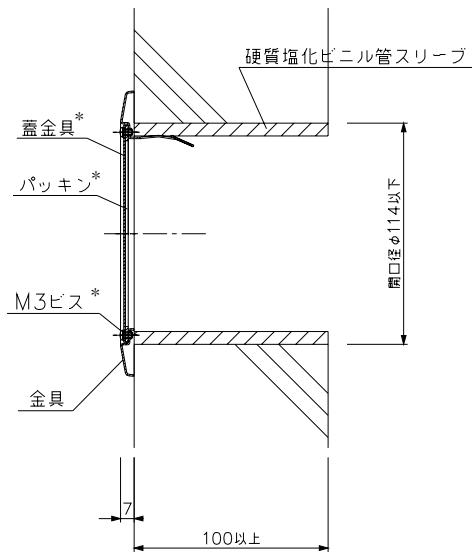
(寸法単位：mm)



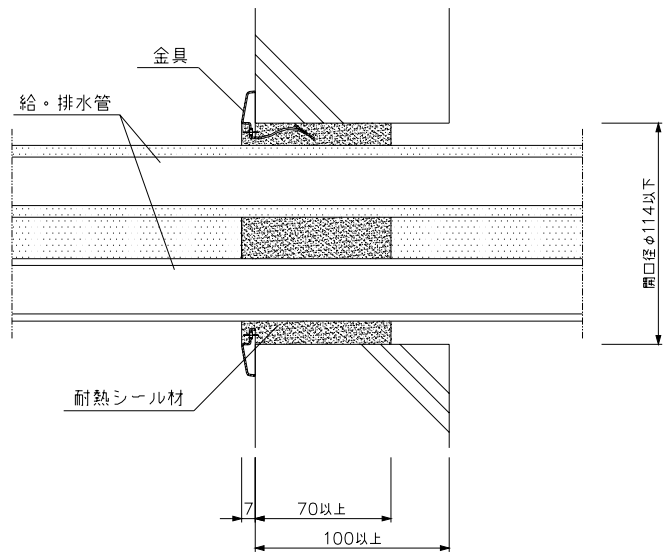
正面図



断面図



断面図（配管施工前）



断面図（硬質塩化ビニル管スリーブのない場合）

注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

* : 本評価内容に含まない

5. 施工方法

〈施工図および施工手順〉

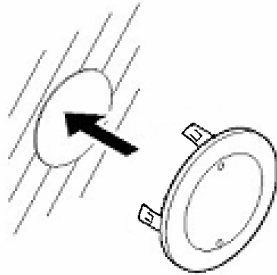
1) 施工手順（配管施工前）

① 貫通穴の設定

硬質塩化ビニル管スリーブを用いるか又はボイド管やコアドリル等を用いて、 $\phi 114\text{mm}$ 以下の貫通穴を設ける。

② 金具等の取付け

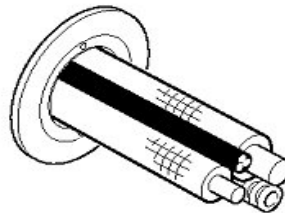
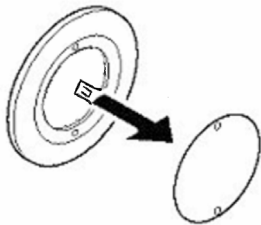
貫通穴に金具を挿入する。（耐熱シール材は、包装したまま貫通穴内に入れておく。）



2) 施工手順（配管施工時）

① 給・排水管およびケーブルの設置

蓋金具、パッキンおよび入れておいた耐熱シール材を取出し、占積率 39.5% 以下になるように、給・排水管およびケーブルを設置して支持・固定する。



② 耐熱シール材の充てん・仕上げ

耐熱シール材を全て金具の内部に充てんし、隙間が無く、金具面まで十分に充てんされていることを確認して仕上げる。

